

令和2年11月18日開催 北条地区意見交換会について

1. 開催の趣旨

- ・北条地区住民の皆様に対し、飯田市長として改めてリニア関連事業へのご理解とご協力をお願いし、北条地区住民の皆様のご意見を伺った。
- ・飯田市長としてリニア事業の必要性を説明した。

2. 開催日等

- ・開催日 令和2年11月18日（水）
- ・時間 午後7時から午後8時45分（約1時間45分）
- ・会場 北条振興センター 2階大会議室
- ・参加者 70名 報道機関 7名 計77名 （市側）佐藤市長、細田リニア推進部長

3. 佐藤市長のあいさつ要旨

- ・飯田市長として改めてリニア事業に対しますごあいさつとお願いに参った。
- ・北条の皆様方には、2011年にリニアのルート、駅位置が発表されて以来、大変なご心労、ご心配をおかけしている。
- ・移転をお願いしている皆様方にとりましては、永年お住まいになっているお家の移転をお願いしたり、あるいは永年、耕してこられた農地をお譲りいただく、そういったお願いをしているわけで、人生設計が大きく変わってしまって、多大なご負担やご心労をおかけしていることと思う。
- ・ご負担やご心労をおかけしている北条の皆様に対して、飯田市としてきちんとお願いをしてこなかった、あるいは、そう受け止めざるを得ない経過であった。
- ・私自身も副市長という立場にあって、もっとできたことがあったのではないかと、そのような忸怩たる思い、あるいは申し訳ないという思い、そういった思いもありますが、今日は改めて市長として皆様方にリニア事業につきまして、お願いとごあいさつに参った。
- ・皆様方には、本当にご負担やご心労をおかけするが、リニア事業を進めてまいりたいと思いますので、どうかご理解とご協力を賜りますようよろしくお願いする。
- ・私の立場で、できる限り皆様のご負担やご心労を軽くできるよう努力する。その点については、改めてお誓いを申し上げます。
- ・リニア中央新幹線の事業は、これまでこの地域にとって大きなハンディキャップとなっていた東京や名古屋との時間距離が非常に遠い、これを大幅に改善することができる事業である。
- ・私としても次の世代、私たちの子供や孫の世代のために、この事業を進めてまいりたいと考えている。
- ・リニア関連事業を進めるにあたっては、北条の皆様方の多大なご負担やご心労を常に忘れることなく真摯な態度で臨んでまいりたい。
- ・今日は、これまでなかなかお聞きできなかった皆様方の割り切れない思いや、吐露できなかった心情につきまして、ぜひ率直なお話をお聞かせいただきたい。

4. 出席者からの主な意見

- 意見交換会開催に関わる意見
 - ・このような話し合いの場が、最初からできれば良かった。
 - ・今回、この機会がとれたことは非常にうれしい。
- リニア全体の計画に関する意見
 - ・コロナウイルス感染症の問題、J R 東海の赤字決算等の問題が生じている中、リニア全体の計画を見直すべき。
 - ・飯田市として静岡県に物を申しないのか。
 - ・市長の一存でこれまでのことを変えることができるのか。(乗換新駅について)
- JR 東海、長野県との連携に関する意見
 - ・長野県の職員と市の職員がバラバラに説明に来る。
 - ・市は J R 東海に対し強く意見を言ってほしい。
 - ・ J R 東海が説明に来ない。
- 職員の対応に関する意見
 - ・担当者が、移転者に寄り添う気持ちで対応していない。
 - ・担当者が連絡や相談もなく代わる。
 - ・移転者がアクションを起こさないと市は対応しない。
- 補償額に関する意見
 - ・補償金が安すぎるため、移転できない。
 - ・買収地と代替地の価格差がありすぎる。
 - ・補償額が十分ではない。
- 移転先及び代替地に関する意見
 - ・集合住宅の意向調査を行ってほしい。
 - ・借地の場合、土地所有者より補償金が少なく移転先を求めるのが困難。
 - ・丹保・北条地区代替地は、4 区画のみの完成で申込を締め切ったが、移転先が完成していない状況で判断できないままの締切となり納得できない。
 - ・丹保・北条地区代替地の区画と区画の間の段差や仕切りは、擁壁等を施工してほしい。
- 農振除外及び農地転用に関する意見
 - ・移転先として選んだ土地が農振農用地で除外できないと言われ困っている。
 - ・リニア関連事業は規制を外して融通をきかせた対応をしてほしい。
 - ・農振除外手続きを簡素化してほしい。

5. 市長からの回答まとめ

- ・集合住宅について意向調査を行う。
- ・農振除外及び農地転用についての取扱いは、法的なことも含めて農業課及び農業委員会に確認する。
- ・その他、事務的に回答すべきものは、事務的に回答する。
- ・今後とも地元の皆様とお話ししながら事業を進めていく。